

[BOSAI TIDBITS]

BOSAI+ Tidbits



避難支援アプリ「みやぎ防災」の説明チラシより
(画像クリックで拡大表示／以下同様)



「みやぎ防災」の3つの機能

● 宮城県の「自然災害避難支援アプリ みやぎ防災」 100万人登録をめざして “防災DX”の有効性をアピール

●マイナンバーカードを活用したデジタル身分証アプリ「ポケットサイン」のミニアプリ

宮城県は、マイナンバーカードを取り込んだデジタル身分証アプリ「ポケットサイン」を開発したポケットサイン株式会社と「デジタルトランスフォーメーション(DX)推進のための実証事業に関する連携協定」を2023年4月に締結し、同社のポケットサインの“ミニアプリ”「自然災害避難支援アプリ みやぎ防災」の運用を昨年(2024年)11月から開始している。

デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」は、マイナンバーカードを活用したスマートフォンアプリで、あらかじめ登録された基本4情報(氏名、住所、生年月日、性別)に基づいて本人確認を行うことが可能で、災害時には住民の円滑な避難や避難所運営などで活用できる。アプリ「みやぎ防災」は、その機能をさらに活かして、自然災害発生時に県民にいち早く避難情報を提供するとともに、避難所の受付などをスムーズに行おうというアプリで、通勤・通学先などから県内の居住地以外の避難所へ一時的に避難した場合でも、避難先と居住地の自治体間で情報が共有されるというものだ。

また、アプリ内に搭載されたミニアプリにより、災害時だけでなく様々なサービスを提供することができることから、県はさらなる普及を図ることとし、アプリ「みやぎ防災」の新規登録者に3000円分のポイントを贈るキャンペーンを7月1日に始めると発表した。先着40万人が対象で、これまでの登録者62万人と合わせて100万人登録をめざす。

登録法は、デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」をインストールしてマイナンバーを入力。「みやぎ防災」と「みやぎポイント(みやポ)」の利用登録をすると、みやポ3000ポイントが受け取れる。1ポイント1円で、アプリを通して県内1600店舗以上で利用できる。ただし、昨年度のキャンペーンすでに3000ポイントを受け取った人は対象外だが、未登録者を紹介して新規登録につながった場合、1人につき300ポイントが得られる。

「自然災害避難支援アプリ みやぎ防災」の主な機能は3つ——

○プッシュ通知

マイナンバーカードの基本4情報(氏名、住所、生年月日、性別)を活用し、電話番号やメールアドレスが分からなくても、自治体がアプリ利用者に必要な情報を提供できる機能。災害発生や避難指示の知らせ、居住地での災害発生などを知らせ、速やかな避難を促す。

○被災者支援情報の提供

物資の配給情報や災証明書の発行手続きなど、生活に必要な情報が居住地や避難所ごとにスマートフォンに届くので、利用者は自身に該当する情報を探す手間が省ける。二次元コード読み込みによる避難所受付(氏名や住所などを受付で記入する必要なし)。平時に、スマートフォンを持たない家族(子ども、高齢者など)を事前に登録しておくことで、家族で避難した際に、同時に受付手続きを行うことが可能

○正確な避難所名簿の作成

二次元コードの受付により、正確な避難所名簿が瞬時に作成され、離れ離れになってしまった家族がアプリで避難所受付をしていれば、どこに避難しているのかの把握も可能

○アンケート

自治体から利用者に対し、避難生活におけるニーズ調査や安否確認を行うことが可

○安否確認

大規模災害時、自治体が安否確認のアンケートを実施、利用者の現状を把握し、その後の支援につなげることが可能

>>宮城県:自然災害避難支援アプリ「みやぎ防災」について